

# TECHNICAL DATA

種 類	住宅基礎用天端仕上材
商 品 名	J S天端レベラー

改訂版数：	第4版
-------	-----

DATE： 2023. 4. 1



菊水化学工業株式会社

# 標準施工仕様書

- 種類：住宅基礎用天端仕上材
- 商品名：J S天端レベラー
- 用途：住宅等の基礎用コンクリート打設後の天端仕上げ
- 適用下地：基礎コンクリート
- 部位：住宅基礎用コンクリートの天端
- 工程

工程	材料・調合	施工用具	標準厚さ	練上容量	標準施工長さ		
					厚さ	基礎幅	長さ
天端 仕上げ	J S天端レベラー 粉体：25kg 上水道水：約6.5L	流し込み 柄杓等  均し ヘラ、コテ等	5～15mm	約16L (1.95kg/L)	5mm	12cm	約26.7m
						15cm	約21.3m
					10mm	12cm	約13.3m
						15cm	約10.7m
					15mm	12cm	約8.9m
						15cm	約7.1m

## ● 施工上の要点

- (1) J S天端レベラーが厚さ5～15mmで仕上がるよう、基礎用コンクリートの打設を調整してください。
- (2) 打設したコンクリートのブリージング水が引いた直後に、刷毛等を用いてブリージングによるレイタンスの除去、または清掃を兼ねた目荒し行ってください。
- (3) セメントの付着を阻害する埃等の付着物は、必ず除去してください。
- (4) 打設したコンクリートが経時で徐々に乾燥した場合、必要に応じて適度の水湿しをしてください。
- (5) コンクリートが完全に硬化した場合、コンクリート表面を清掃した後、吸水調整材（スタッコプライマー#3の5倍希釈液）を塗布し、乾燥させてください。（1時間以上、指触で乾燥を確認）
- (6) 容器に上水道水6Lを採り、粉体25kgを徐々に加え高速ハンドミキサー等を使用して3分間以上均一に混ぜ合わせ、必要に応じて0～0.5Lの上水道水で軟度調整してください。
- (7) 調合後の可使用時間は、30分以内(20℃)です。なお、時間経過とともに材料が分離しやすくなるため、必要に応じて軽く攪拌し、使用してください。
- (8) 練り上がった材料は施工箇所に所定の厚さで流し込み、表面をヘラまたはコテ等で均してください。
- (9) 粉体及び上水道水以外の異種物質（セメント等）は加えないでください。
- (9) 材料の練り足しや加水による練り戻しは行わないでください。
- (10) 施工後の1日間は、直射日光・通風・降雨・凍害等に充分注意し、必要に応じてシート養生を行ってください。
- (11) 養生期間は、春・夏・秋期は3日間以上、冬期は7日間以上としてください。

## ● 注意事項

- (1) 気温が5℃以下の場合は施工を避けて下さい。
- (2) 強風及び降雨、降雪の場合又はそれらが予想される場合は施工を避けて下さい。
- (3) 材料の粉体は湿気や水掛かりに注意し、保管して下さい。

# 組 成 表

種 類	住宅基礎用天端仕上材	
商 品 名	J S天端レベラー	
荷 姿	J S天端レベラー (粉 体)	NET 25kg/袋入

## 組 成

### ● J S天端レベラー (粉 体)

内 容	重 量 (%)
ポルトランドセメント	30 ~ 40
骨材 (珪砂等)	60 ~ 70
添加剤	2 以下
計	100.0

—以下余白—

# 性能試験成績書

種 類	住宅基礎用天端仕上材		
商 品 名	J S天端レベラー		
供 試 材 料	J S天端レベラー		
JASS 15M-103 に準拠			
項 目	品質基準		結 果
フロー値	19cm 以上		24
凝結時間 (20°C)	始 発	45分 以上	7時間45分
	終 結	20時間 以内	9時間10分
圧縮強度	材齢 7日	—	20.2
	材齢28日	20N/mm <sup>2</sup> 以上	28.5
下地接着強度	材齢 7日	—	1.4
	材齢28日	0.7N/mm <sup>2</sup> 以上	1.8
衝 撃	割れおよびはがれがないこと		0.8
※参考試験 (JIS R 5201の試験方法に準拠)			
曲げ強度	材齢 7日	—	4.9
	材齢28日	—	5.8
<p>※結果数値は試験値であり品質保証値ではありません。</p> <p style="text-align: center;">—以下余白—</p>			

# 一般的な注意事項

## 《下地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分に行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。

## 《環境》

- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適当な水湿し、または下塗りを行ってください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響（高湿度、結露、降雨等）を受けた場合、塗膜表面が白化することがあります。施工場所の気温が 5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

## 《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
- 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスクングを行ってください。

## 《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

## 安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS (安全データシート：旧 MSDS) を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

\* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。